

2021年度JHF事業計画

事業方針

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて国境を超えた移動が困難になり国際大会が中止になるなど、ハンググライダー、パラグライダー活動ともに低調に推移しました。2021年度はワクチン普及に伴って次第に活発になることが期待されます。なお、フライヤー会員の減少のため、フライヤー会費を年額5000円から7000円に値上げしました。

今後も教本作成や安全セミナーなどを通じて事故の防止を図っていきます。フライヤー自身のケガを保障するJHF総合保障制度の加入者の拡大を図ります。フライヤー人口は少しずつ減少を続けています。重大事故0と新会員獲得に取り組んでいきます。

事業の具体的内容

1. 理事会・事務局の事業

- (1) 全国のフライヤーの実態把握と安全対策
- (2) 愛好者増加の推進
- (3) ハング・パラグライディングのイメージ向上・宣伝告知
- (4) 委員会の主体的活動のバックアップ
- (5) ボランティア制度の活用促進
- (6) フライト中の情報交換を可能にする無線機の普及
- (7) フライヤーのための損害保険の告知と普及
- (8) スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及
- (9) 第三者賠償責任保険の付保継続
- (10) JHF白書の編纂
- (11) 寄付・助成金獲得への取り組み
- (12) その他定款の定める管轄事項
- (13) オンライン手続き、キャッシュレス決済の研究

2. 常設委員会・事務局（広報出版）の事業

(1) 安全性委員会

- 1 事故情報の収集と管理
- 2 事故調査活動
- 3 機体登録制度の推進
- 4 PG・HG・MPGパイロット安全セミナーの推進
(教員・スクール事業委員会と合同)

- 5 海外情報収集と告知（DHV infoの翻訳など）
- 6 セーフティーツの管理
- 7 ハング機体整備制度・現状調査
- 8 委員会ホームページの管理
- 9 注意喚起情報の発信（JHF ウェブページより随時）
- 10 チェック5タグの装着を推進（安全注意喚起用）
- 11 パイロットセミナー教材の充実（PPT教材の作成等）

（2） 教員・スクール事業委員会

- 1 PG・HG・MPGパイロット安全セミナーの開催
- 2 教員実技検定会
- 3 教員学科集合検定会
- 4 上級タンデム技能証検定会（年間予定は2回＋再検定者対象を1回。希望者が集まれば別途開催）
- 5 教員助教員更新講習会
- 6 レスキューパラシュートリパック認定証更新講習会
- 7 レスキューパラシュートリパック認定証検定会
- 8 PG教本改訂版の発行（2020年度内発行）PG技能証規程もこれに合わせて改定
- 9 HG教本の発行（PG教本に続いて発行。2021年度初頭）
- 10 スクール登録制度の見直し
- 11 学科試験問題の見直し（PG、HG、MPG）
- 12 上級タンデムテキストの改訂と検定細則の見直し
- 13 上級タンデム技能証の更新（2022年度）に備えた体制準備
- 14 教員の資質向上の支援

（3） HG競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 HGシリーズの運営
- 3 フライトコンテストの運営
- 4 委員会ホームページの運営
- 5 クラスI日本選手権の開催（2月の紀の川が中止となったため、代替開催を調整中）
- 6 クラスV日本選手権の開催（2021年4月29日～5月2日、茨城・足尾）
- 7 クラスI&V世界選手権（北マケドニア、クルシェボ 7月18日～30日）に選手派遣
- 8 各種大会の公認および後援申請に対する審議および承認
- 9 SNSを活用したタイムリーな情報発信
- 10 公式立会人制度の見直しと、バッジとメダルの授与ルール作り

(4) PG競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 ウェブ事務局/ホームページ管理
- 3 Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理
- 4 J2リーグおよびアキュラシーリーグの活性化・支援
- 5 XC日本選手権の開催（2021年5月1日～5日、和歌山県・紀の川）
- 6 アキュラシー日本選手権の開催（時期、開催地未定）
- 7 第17回XC世界選手権（フランス 5月23日～6月5日）に選手派遣
（注：コロナの影響により、開催の最終決定は3月15日に公表予定）
- 8 第12回アキュラシー世界選手権（北マケドニア 10月7日～16日）に選手派遣

(5) 制度委員会

- 1 JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
 - 1) 理事会諮問事項への答申等
 - 2) JHF ウェブ上の総覧整備（規程改正およびFAI部分）
 - 3) FAI技能記章、公式立会人に関する事項の研究
- 2 他委員会および事務局との連携
 - 1) スクール、クラブ、エリア登録制度改正

(6) 補助動力委員会

- 1 MPG事故情報管理
- 2 MPGパイロット安全セミナー開催
- 3 JPMAと共同で今年も開催（大会・安全セミナーなど）
9月か10月頃 関東圏内（候補地・千葉県九十九里）
- 4 委員会ホームページ管理

(7) ハングパラ振興委員会

- 1 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討（継続）
 - － フライヤーズボイスの定期更新体制の運用と継続的見直し
 - － 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析（継続）
 - － 学生が卒業に伴いやめてしまう問題の分析と対応策検討（学連と連携）
 - － 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ（仮称）」継続的に更新
 - － JHFレポートの活用（特集記事など）（継続）
 - － SNS（Facebook等）を活用した情報発信の検討（継続）
 - － 「新しい生活様式」におけるスカイスポーツの認知度向上の試み
- 2 体験会等イベントへの協力
 - － 「新しい生活様式」におけるイベントの模索

3 外部組織との連携

- － VR体験に関する大学研究室との協力体制維持

(8) 役員選任実行委員会

- 1 通常総会における役員選任の準備と実施
- 2 役員選任規約の改定検討

(9) 事務局（広報出版活動）

- 1 JHFウェブサイトの運営（スクール紹介サイトを含む）
- 2 JHFレポートの発行
- 3 関連媒体への情報提供
（ハング・パラグライディング関連雑誌に情報を提供）
- 4 一般媒体などへの情報提供
（ハング・パラグライディングの紹介、イベントやエリアの紹介など）
- 5 スクールなどへの情報提供
- 6 日本のHG・PGの歴史編纂事業
- 7 スクール・エリア登録の推進
- 8 ITシステムの更新および効率化

3. その他この法人の目的達成に必要な下記の事業を行う

- (1) 技術に関する事業
- (2) 教育に関する事業
- (3) 安全に関する事業
- (4) 競技に関する事業
- (5) その他普及啓蒙に関する事業

以上